

令和7年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 20
ID 102006

【施設状況】

グループ名称	地域活動支援センターつくし、一体型共同生活介護施設(三津和園)									
指定管理者名	社会福祉法人信濃の星						法人番号	8100005002197		
所管課	主	102000	障害福祉課	副						
構成施設	1420	地域活動支援センターつくし								
	1417	一体型共同生活介護施設「三津和園」								
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制	
施設概要	【つくし】 作業室2、事務室1、トイレ男・女・身障者用 各1、休憩室1、更衣室1 【三津和園】 管理入室1、事務室兼相談室1、厨房1、食堂1、居室8、浴室1、洗濯場1									
施設設置目的	【つくし】障害のある人・高齢者の方々が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生産活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。 【三津和園】 障害者に対し、共同して自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な介護、相談等の日常生活上の支援を行うとともに、短期間の入所に係る支援を行うことにより、障害者等の福祉の増進を図る。									
基本方針等	【つくし】 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。 【三津和園】 質の高いサービスを利用者に提供するとともに、利用者の相談や日常生活上の援助及び介護を行いながら、社会人として地域での自立した社会生活を営むことができるよう支援する。									
主な実施事業	【つくし】 ・地域活動支援センター事業(作業訓練・生活訓練・社会体験訓練・相談) 【三津和園】 ・短期入所事業 ・共同生活援助事業									

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		社会福祉法人信濃の星			当該指定管理者の 指定回数		4回	
指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日5年			当該指定管理者の 管理運営開始日		平成21年10月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価 3
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)							

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	対前年比	評価
	【つくし】利用者平均人数	月/人	3	3	3	3	100%	
	【三津和園】共同生活援助	人/月	7	7	6	6	100%	
	【三津和園】短期入所(延べ利用日数)	日	27	0	4	0	0%	
	【三津和園】短期入所(利用者実数)	人	1	0	1	0	0%	
(特記事項) 【つくし】 定員14名、登録6名 【三津和園】 定員7名								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	【つくし】 ・支援法第77条第1項第9号に規定する地域活動支援センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務 【三津和園】 ・支援法第5条第8項に規定する短期入所の実施に関する業務 ・支援法第5条第17項に規定する共同生活援助の実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務						
	自主事業	【つくし】 ・外出イベント(食事会、お花見) ・スポーツ活動事業(ウォーキング、体操) ・施設間交流事業(カラオケ、クリスマス会、新年会、バーベキュー大会、自主製品の他施設販売活動) ・社会活動事業(地元施設の清掃活動・地元企業の下請け作業) 【三津和園】 R7年10月に同法人で法人20周年祭を開催されたお祭りに参加。 お楽しみイベント・お楽しみ献立を行い、リクエストメニューの提供。						
サービス維持・向上の取組み(広報等)		施設紹介のため、施設パンフレットを各所へ配布						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	聞き取り		3
	(2) 調査、会議等の内容 【つくし】・常時、利用者や家族からの相談を受け付けている。 ・通所が滞っている利用者に対し、定期的に連絡をとり状況の把握に努めた。 ・通所時に家族やグループホーム職員と情報を共有し、一貫した支援を心がけている。 ・保健師・相談員・訪問看護師・社協職員と情報交換し共有している(ケア会議・支援会議等) 【三津和園】 ・投書箱を設置し、常時、利用者本人の要望等の把握に努めている。 ・支援会議や定期的にモニタリングを実施。			
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 【つくし】 ・利用者のフェイスシートを作成し、きめ細かな支援を実施するため職員間で情報を共有し、継続的な支援を実施できるようにしている。 ・利用者からの要望があれば、イベントに反映させるようにしている。 【三津和園】 ・モニタリング等でニーズを把握し、個別支援計画に反映させ、職員間及び関連施設間において、個別支援プランの情報共有を図っている。			
	(1) 良好とする評価 【つくし】 ・利用者にとって、当施設への通所は日常的な事であり習慣化している。 ・つくしがあることがありがたいとの評価が利用者から提示されている。 ・利用者個々にあった作業や活動を提供することで、メリハリのある生活の提供を実施している。 【三津和園】 ・利用者各人の特性の情報共有や継続的な支援に努めている。 ・年末年始等の長期連休期間も、利用者の家族からの要望により、平常時同様に受け入れを行っている。			
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項 【三津和園】 食に対しての投稿あり(メニュー・量等)			
	≪対応措置≫ 【三津和園】 改めて、職員間での支援の方向性・声掛け支援のあり方をしっかり再確認を行った。			

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和7年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和7年度決算			令和6年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	指定事業	利用料金	4,710,000	利用料金	4,395,794	歳入	使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料			使用料 雑(納付金) 行政財産目的外使用料	
指定管理料		9,880,000	指定管理料	9,880,000	貸付料			貸付料			
委託料		597,000	委託料	620,000	その他			その他			
販売収入等		850,000	販売収入等	650,000	利益配分			利益配分			
その他収入		14,040,000	その他収入	10,478,739							
		0									
収入計		30,077,000	収入計	26,024,533	計	0	計	0			
人件費		18,917,000	人件費	17,551,666	歳出	指定管理料	9,800,000	指定管理料	9,642,000		
設備管理費		348,000	設備管理費	251,800		委託料		委託料			
備品購入費		100,000	備品購入費	0		需用費		需用費			
修繕費		60,000	修繕費	0		役務費		役務費			
光熱水費		2,200,000	光熱水費	1,722,962		使用料・賃借料		使用料・賃借料			
事業費		3,623,000	事業費	3,086,887		修繕費		修繕費			
事務経費		554,000	事務経費	510,147		工事請負費		工事請負費	5,462,600		
本社経費		2,185,000	本社経費	2,152,270		備品購入費		備品購入費			
その他		1,310,000	その他	1,140,000		その他	10,106,410	その他	11,722,822		
								R5年度補填額	456,000		
支出計		29,297,000	支出計	26,415,732	計	19,906,410	計	27,283,422			
指定事業損益	780,000	指定事業損益	-391,199								
(利益配分を除く 指定事業損益)	780,000	(利益配分を除く 指定事業損益)	-391,199								
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益	780,000	-391,199	差引	-19,906,410	-27,283,422						
人件費比率【人件費(賃金等)／令和7年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								66.4%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由				本部人員の増員のため、経費単価が下がったため本部経費が減っている。							

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			【つくし】 所長(兼務) 1人(1)、支援員(常勤)2人(2) 【三津和園】 所長(兼務)1人(1)、 統括マネージャー1人(1)、サービス管理責任者(兼務)1人(1)サービス管理責任者、生活支援員(非常勤)6人(6)、世話人(非常勤)5人(5)、 宿直4人(1)
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	☒		
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価 3
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	【つくし】 ・地域の保健師、相談員や民生委員、隣接する三津和園と密な連携を図っている。 ・地域の施設や企業の作業を任せ、定期的に実施することができた。 【三津和園】 ・地域連携推進会議を設け、地元の民生委員、保健師、関係機関等と連携し、情報の共有を図る ・新町授産所の職員と連携し、必要に応じて情報共有を行った。		

総合評価			
評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	合計得点
施設の有効活用	3	6	
利用者評価	3	12	60
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
評価理由	・地域特性により新規利用者の確保が難しい状況にある一方で、併設する三津和園の利用者の高齢化に伴い、他施設への通所が困難となった利用者の受け入れを積極的に行い、安定した利用につなげている。また、他施設への通所と併用しながら、地域の身近な活動拠点として利用する利用者も増加している。 ・新規作業を取り入れ、利用者の活動の幅を広げることができた。 ・魅力あるイベントを定期的に実施し、利用者の参加を促すことができた。		
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	【つくし】 ・利用者の増加、定着のための工夫 【三津和園】 短期入所利用への取り組み強化(PR等)	・新規利用者獲得のため、保健師や相談員等と情報交換を行った。	利用者の増加はここ数年の課題となっている。関係各所との情報交換を継続しているものの、地域特性により新規利用者の確保は依然として難しい状況にある。
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・利用者の健康面への支援や生活習慣の改善に向けた生活支援を行う。 ・現在取り組んでいる事業の継続に加え、新規事業の検討を進め、利用者の活動の幅を広げていきたい。 ・本施設の活動内容を広く周知し、支援が必要な方の利用につなげていく。 ・季節に応じたイベントや外出行事を企画し、日常とは異なる余暇活動の機会を提供していきたい。		

指定管理者自己評価		
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み 【つくし】・体力の維持向上のため、ウォーキングや体操の時間を設けた。 ・利用者一人一人の情報を共有し、統一した支援が出来るよう心掛けた。 ・利用者の意見を積極に取り入れ、イベントや日々の活動に反映させた。 ・法人の実施する研修や市の研修に参加し、職員のスキルアップをはかった。 【三津和園】・投書箱を継続し利用者の要望・苦情解決に取り組む。 ・利用者にとってより良い住環境であるために、モニタリングを定期、不定期に行いニーズに沿った支援の統一ができるよう努めた。 ・健康維持管理の観点から外部の管理栄養士が作成した食事の導入を継続して行っており、必要な方には保健指導を月1回行っている。月1回体重測定を行い健康の維持向上に努める。 ・職員研修の機会を今以上に増やしていく。 ② 業務の効率化に対する取組み 【つくし】 ・職員2名と少数ではあるが、状況に応じてどちらの職員も支援につけるよう取り組んだ。 ・情報の共有を心がけた。 【三津和園】 ・ミーティング等で職員間で統一した支援が行えるよう取り組んでいく。 ・緊急時に他の事業所職員も対応できるように、三津和の携われる人材を増やしていく。 ③ その他		
(2) 指定管理者業務実施上の課題 【つくし】 ・地域柄、利用者の増加が望めない。 ・利用者に対するサービス内容の検討。 ・利用者の高齢化のため日々の体調管理が必要。 ・施設の老朽化。 【三津和園】 ・風呂場がバリアフリーになっておらず、車いすの方の入居の募集ができない ・市街地にあるグループホームでは、入居者が多くのサービス(障害福祉サービス・介護保険サービスなど)の中から日中活動先を選択できるのに比べ、当施設では選択肢が限られてしまう状況である。入居者が他のグループホームの利用者と平等に生活するためにも、移転を希望する。 ・高齢の職員が多く、若い人材への移行が課題となっている。 ・介護保険へ移行する年齢の利用者もでてきており、利用者の移行と新規受け入れをスムーズに行えるように情報発信・収集が必要となっている。		
(3) 総合評価 評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価	C
① 評価理由 【つくし】 ・事業収支においては、大きな変動なく安定した運営ができた。 ・施設の周知活動を実行したが、利用者の増員を図る事ができなかった。 ・事業は計画通りに効率よく行うことができた。 【三津和園】 ・本年度の事業収支、管理運営全般は、目標より下回っている。 ② 次年度以降の取組み 【つくし】 ・施設の活動内容を関係各所へ案内し、支援が必要な方の利用へつなげていく。 ・全ての利用者が取り組める事業内容の検討。 ・現在行っている事業の継続。 【三津和園】 ・継続して余暇活動の充実 ・三津和園を知って頂くためにPRを行っていく ・職員の研修を行いサービス向上を目指す		